

第4期 第8回 川口市自治基本条例運用推進委員会 会議録

会議の名称	第4期 第8回 川口市自治基本条例運用推進委員会
開催日時	平成25年11月22日(金) 午後6時27分から午後7時45分
開催場所	中央ふれあい館 特別会議室
出席者	(委員長) 齋藤委員長 (副委員長) 田村副委員長 (委員) 板橋委員、松本委員、松尾委員、北浜委員、 宮坂委員、浅見委員、草野委員、林委員
会議内容	(傍聴について) ○ 開 会 ○ 議 事 ・委員会の在り方について ・任期満了委員から ○ 次回の会議について ○ その他 ○ 閉 会
会議資料	1 次第 2 前回の会議録 3 次期委員会への申し送り事項 4 川口市自治基本条例のパンフレット 5 川口市自治基本条例の手引き
発言内容	(傍聴について) 事務局 本日は1名から傍聴の希望が出ているので入室していただく。また、 会議開始後に傍聴希望者が来た場合は所定の手続き後に入室していただく 取り扱いとする。  ■ 1 開 会 (午後6時27分)  事務局 これより第8回川口市自治基本条例運用推進委員会を開会する。本日の 欠席者は4名、出席委員は過半数のため、この会議は成立している。 はじめに、本日の資料を確認させていただく。 机上配付してあるのは、次第、前回の会議録完成版、次期委員会への 申し送り事項の確定版の3点である。 なお、「川口市自治基本条例の手引き」、「川口市自治基本条例のパンフ レット」は、毎回の会議に持参していただいている。資料について過不

足はないか。

－ 資料の過不足なしの声 －

本日の議事については、次第に従って進めたい。ここからの進行は、委員長をお願いしたい。

## ■ 2 議 事

委員長

本日の進め方としては、前回まで今期の審議経過をまとめた「次期委員会への申し送り事項(案)」について、委員の皆さんの意見をいただき、申し送り事項としては確定させていただいたが、あらためてこの委員会の議論が実りあるものになるためにどうしたらよいか。

この委員会のどこが問題で、どう変えたら望ましい委員会の形になるかというアイデアをもらいたいと前回お願いをした。

本日が今期最後の委員会となるが、申し送り事項とともに議事録として次期への報告をしたい。

それでは、順にアイデアや意見をお願いしたい。

質疑等については、発言者ごとにさせていただいて構わないので、1人意見を述べる時間は、2、3分をお願いしたい。

委員

前回まで述べてきたように、自治基本条例の推進アクションプランを策定することがまず必要と考えている。

これまでは私の考えがやや誤解されて伝わっていたように思うので、あらためて述べさせていただきたい。

この委員会は入れ替わり制により、多くの、そして様々な立場の人が委員になることから、誰が見ても分かりやすい計画でなければならない。

そして、自治基本条例の推進をしていくために、議会事務局を含む、行政がプランを作成し、実行し、その計画の進捗状況を検証することがこの委員会の役割と考える。

委員長

ただいまの意見についてはどうか。

委員

ただいまの意見について確認したい。その推進アクションプランは、行政等が策定するとのことだが、具体的にどのようなところが策定するのか。

委員

自治基本条例に照らしてということなので、主に総合政策課が主管になるのかと思うが、例えば都市計画に関することであれば都市計画課が、福祉に関することについては福祉の主管課が策定するイメージである。

委員長

私からも確認をしたい。提案した推進アクションプランは、新たに策定するものになるのか。

つまり、自治基本条例に関連する既存の事業を特出ししてそれ相応のプランを新しく策定し、委員会がチェックすることになるのか。

委員

その通りである。

委員長

自治基本条例に関連すると思われる既存の事業を特出しして、新たに策定するとなると、行政では総合計画をローリングし、行政評価や外部評価などを経て進行管理をしている。この推進プランのそれらとの差異はどこになるのか。

委員

同じものを見たとしても、見る角度や見方を変えることが必要であり、自治基本条例に照らした場合の妥当性や全体性、さらに一般市民が見てわかりやすく「見える化」することが大事である。具体的には合志市の策定事例を改めて参考資料として配布するので、次期委員会で引き続き検討していただきたい。

委員長

今の意見については理解した。他の意見はどうか。

委員

私からはこれまでの委員会について感想を述べると、委員が意見を言いやすい環境という意味では、宿題形式で事前にレポートを提出することで、委員会当日に意見が述べやすかった。

限られた時間での議論に効果的だったと思う。次期の委員会でもこの方法を続けてもらえれば議論が深まると思う。

#### 委員

意見を述べる前に確認するが、本日述べるアイデアは、次期の最終的な答申に向けての意見なのか、それとも次期の委員会へ引き継ぎとしての意見を出したら良いのか。

#### 委員長

次期委員会への引き継ぎという観点でお願いしたい。

#### 委員

了解した。今の委員会形式の場合、常に考えを思い起こす作業が必要になってしまう。これを解消する提案として、前回の審議事項の論点を素材にした資料や参考となる客観的なデータ等があると議論が深まると思う。

そうした意味では前の意見に近いもので、会議資料として前回の議事録はあるものの、会議日の事前にも資料提供があればなお良い。

#### 委員

限られた時間の中で意見を集約するためには、委員が同一の状態であれば難しい。委員が共通の認識を持って進めるためには半数の委員が1年で入れ替わる制度をあらためないと、そのギャップはいつまでも埋まらないと思う。

私はまず、半数の入れ替えを改めたほうが良いという意見である。

#### 委員

前回まで、委員会は問題が生じた時に開催する形で良いと述べたが、この委員会を設置した当時は何らかの目的はあったのかもしれない。

そのことを踏まえ、もし、定期的を開催する必要があるのであれば、定期的アンケートを実施し、その結果を議論する形にしてはどうか。

私の意見としては2通りである。何か問題が生じた時に開催するか、3カ月に一度くらい定期的にアンケートを実施して、その結果について

委員会で議論してはどうか。

副委員長

ただいまのような意見が出る前提として、今回の議論が難しかったことがあるかと思う。今期は、これまでのように明確なテーマを設定しなかったことで余計にそう感じたのかもしれない。

そこで質問だが、アンケートを3カ月ごととした理由と、問題が発生した時とはどんな時を想定しているのか。

委員

例えば、災害時において行政の対応が問題だということが、市民側から顕在化した時などである。アンケートを実施することは、問題となりそうなことを掘り起こす意味もある。

副委員長

問題が生じた時ということは理解した。ただし、アンケートを実施することについて言えば、この委員会の委員は、市民の代表であるので、リサーチしてもらうことも必要であり、アンテナショップのような役割を担うことも期待したい。

委員

アンケートを実施するもう1つの理由は、広く市民に知ってもらうため、つまり広報的な役割も兼ねると考える。

委員長

確かにそのような役割は期待できる。他に意見はあるか。  
無ければ、次の意見をお願いしたい。

委員

この委員会は一度、思いきって休止、または解散しても良いと考えている。過去の答申をあらためて確認してみると、見直しは必要ないとの見解や、過去にも課題として挙げていた認知度を上げることについても、依然として進んでないのが現状である。

先ほどの意見にもあったように、委員が1年ごとに入れ替わり、議論も進めない状況も踏まえると、思いきって5年くらい経過した後、新たなかたちにするため、リセットした方が良いのではないか。

副委員長

今の意見は、来期以降に繋がる、次の論点を示したものである。  
これまでの議論から大きく方向転換するような意見ではなく、自治基本条例の改正はないという結論ではなく改正はあるということを示した意見になる。

委員

委員構成が1年ごとに変わっていくことは、新しいアンテナを増やすという観点からすれば、広報的な意味はあるかもしれない。  
ただし、議論を深めるうえでそこが問題となるのであれば、いっそのこと委員を一定期間固定してみてもどうか。  
また、問題が発生した時に開催するという意見については、私も定期的に開催する必要性はあまり感じられない。アンケートの実施と意見については、目安箱のように、もっと気軽に意見を収集するかたちで良いと考える。

委員長

その目安箱はどんなものを考えているか。その意見は自治基本条例に関することに限定するのか。

委員

市政に関することなら広い意見で良く、自分たちのまちづくりに関するような意見をもらえればと思う。

委員

現状では「市長への手紙」という制度があるが、それとは違うものになるのか。

委員

「市長への手紙」よりももう少し敷居を低くし、気軽に意見が言えるものを考えている。

委員長

他になければ次の意見をお願いしたい。

委員

今期を振り返ると、議論が進んでは戻りという繰り返しに感じた。  
次期委員会では、議論をしやすい簡単なテーマを決め、意見が活発にできるように進めてもらえればと思う。

委員長

私から本日欠席委員の意見も述べさせてもらう。  
要約をすると、今の入れ替え制ではなく、市長から諮問される内容によって、ある程度専門的な人に就いてもらうのが良いと思う。  
さらに、ブレン型委員会にするとしても2通りの立ち位置があり、意思決定、指示、管理する立場なのか、それとも個別具体的なアイデアを執行する立場なのかを明確にする必要がある。

副委員長

今の意見をもう少し言うと、あらかじめ諮問事項が示されるのであれば、委員には興味関心がある人に就いてもらうのが良いだろう。  
次に、個別具体的な素案などを作成するのはもう少し小さな部会などを設定し、この委員会はそれらの素案をたたくという位置付けで良いという意味も含まれ、諮問事項に応じて委員数や任期などもフレキシブルにした方が良いということではないか。

委員長

これまでの意見を踏まえると、どのような委員会のかたちにするにせよ、この委員会条例に規定する委員の半数を1年ごとに改職するという部分がネックになっているのかと思う。  
今の委員会のかたちは、この規程によって継続していくことになり、仮に同一メンバーで集中的に審議を続けるということに変えるならば、少なくともこの条例の改正が必要という結論になる。  
その他で何か意見はあるか。

委員

人数のことから言えば、これ以上増えてしまうと議論は難しくなると思う。今の人数くらいが妥当ではないだろうか。

委員長

他に意見はあるか。

#### 委員

様々な意見を持った委員が議論を深めるという意味では、審議時間が絶対的に足りないと感じている。また、将来的には協働推進の委員会と一緒にすることも大きな改革として考えてみてはどうか。

先ほど委員会を廃止するとの意見が出たが、この委員会が無くなった場合、どこがこの条例を守っていくのか。

我々この委員会は、自治基本条例をつくりっ放しにしないで、守り育てるという前向きな姿勢を持ち続けるべきと考える。

#### 委員

委員会を無くす廃止という意見よりも、答申から数年経過してもなかなか進まないことを踏まえると、3年ないし5年くらいの長期間を空けてみてはどうかという意見である。

#### 委員

広報紙に「財政健全化推進計画」が掲載されていたが、このように議会事務局を含む行政の各主管課がプランを策定し、自治基本条例運用推進委員会が進行管理しているということを市民の目に触れるようにすることも広報になる。

#### 副委員長

確かにこの委員会ではこれまで答申後の調査は行っていない。

例えば、入れ替え制を廃止して2年間の任期のうち、前半の1年間は答申の事後調査、後半にテーマを設定して議論をするなど、柔軟性を持たせることも可能になる。

#### 委員長

これまで答申後の検証ができなかったのは、確認する作業は相当困難なことが予想される。委員会の構造的な問題が顕在化している状況では、委員の持つ情報量、経験、認識のズレについては一向に埋まらない。

また、テーマがはっきりしないという意見が多く出たが、実は議論の投げ所となるメインターゲットが絞れなかったのかもしれない。

本日出た意見で言えば、計画をつくる、アンケートを実施する、目安箱を設置する等のアイデアが議論の投げ所にあたる。

広く市民に知ってもらうこと、認知度を上げるという目的からすれば、委員会の継続性を担保することや、細かい規定をするよりもより多くの

人に集ってもらい、自由に、多様な視点で議論をしてもらうことでも効果は上がるのではないか。

簡単に言えば、議会が会期ごとに完結しているように、その時その時でテーマを変え、より多くの多様な人間を集めて議論をしたほうが、かえって市民の認知度の平均値は上がると思う。

私から色々と述べてしまったが、これだけは次期に引き継いでもらいたいということが他にあればお願いしたい。

#### 委員

次期委員会では、豊中市の子供向けのパンフレット、合志市のアクションプランを是非とも参考にしてもらいたい。

また、申し送り事項には書かれていないことで、1点目は、自治基本条例の日を定めること、2点目は、「日本一の住民自治の街」という宣言を行うこと、3点目は、協働推進条例の通称、「まちはみんなでつくるもの条例」のように通称をつくってはどうかということを最後に述べておきたい。「まちはみんなでつくるもの条例」という通称は、協働推進条例よりもむしろ自治基本条例全体の通称にふさわしいと考えている。

#### 委員長

それでは、任期満了となる委員から感想を述べてもらいたい。

#### 委員

この委員会は難しいテーマを議論する委員会なので、次期の委員会では、できるだけ議論がしやすい、わかりやすいかたちの委員会になれば良いと思う。2年間お世話になりました。

#### 委員

私がこの委員会に応募したのは、元々川口市の人間ではなかったので職場以外に何か貢献できる場所がないかということが動機だった。

そうした意味も含め、この委員会をどうにか残してもらいたいと思っている。

#### 委員長

それでは今期委員会の議論については以上としたい。

次期は新しい委員を迎え、申し送り事項をもとに引き続き議論をしていきたい。他に何か意見はあるか。

	<p>副委員長 確認として、今回と前回の議論の内容は議事録として申し送り事項と共に次期に報告するという事で良いか。</p> <p>委員長 そのようなことで了解願いたい。</p> <p>— 委員了承 —</p> <p>委員長 それでは事務局から、次回の日程についてお願いしたい。</p> <p><b>■ 3 次回の会議について</b></p> <p>事務局 次期の第1回会議の日程は、前回にもお知らせをしたとおり、12月26日の木曜日、午後6時30分より、中央ふれあい館 講座室1号で開催したい。 今回は新委員への委嘱書交付を予定している。</p> <p>委員長 ただいまの事務局からの報告で何かあるか。</p> <p>— 委員からなしの声 —</p> <p><b>■ 5 閉 会</b></p> <p>委員長 他になれば、本日は閉会とする。</p> <p>(午後7時45分)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
次回日程	<p>次 回 平成26年12月26日(木) 午後6時30分から 中央ふれあい館 講座室1号</p>